

# 遠回り

作詞・作曲 岡 秀年

俺は今も誰かが敷いたレールの上  
口を閉ざしたまま頷いていればいいのかい

漠然とした叫び声は誰にも聞かれない  
だけど確かにここには、ここにはあるんだ

大人しく前習えしていれば 弾かれずに済むのだろうけど  
何一つ得られもせずに 叫びだしたくなっただけ

与えられた言葉を探って 君の何が伝えられるの  
上手く生きてゆくどころか いつも遠回りばかりをしている

俯き様に呟かれた彼等の真実は  
時に急かされ、人混みに掻き消されてしまったけど

長い旅を繰り返して 心に問いかけていた  
いったい何処へ行けば 何処へ行けばいいんだろう

いつでも真っ直ぐに前を向いて 歩いてゆくのだよと  
この心に残された言葉 忘れてなんかいないさ、だけど

やり切れない思いを幾つも抱えて 俺達、何を手にするのだろう  
いつの日にか今日を振り返り何を感じられるというのだろう

人生を振り返るのも嘆くのも 俺にはまだ早い  
悲しみに酔い黄昏尽きたら また明日へと歩き出そう

この命尽き果てる日が来ても 確かに歩いた道があるのなら  
遠回りばかりの人生でもいい 一歩ずつ歩いてゆこうか

遠回りばかりの人生でもいい 一歩ずつ歩いてゆこうか